

設置目的

美術に関する市民の知識及び教養の向上に寄与することを目的とする。

運営方針「美術館がめざすもの」

政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館

- 1 「あるもの（館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境）」を活かし、新たな知を掘り起す
「発見する美術館」
- 2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が 「学べる美術館」
- 3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る 「生きている美術館」
- 4 市民同士、地域の文化施設相互が 「つながる美術館」
- 5 高い質を保ち、市民が誇れる 「信頼の美術館」

平成 24 年 9 月策定

新潟市新津美術館

設置目的

市民の芸術に関する市民の知識及び教養の向上並びに芸術文化の交流の推進に寄与することを目的とする。

運営方針

市民と連携しながら、愛され親しまれる美術館

1. 何かが見つかる美術館

美術館の持つ資源を活用して、市民に美術に対する新たな発見と感動の場を提供し、豊かな創造力を育みます。

2. 明日へ向かう美術館

美術資料の収集・整理・保管を充実・強化するとともに、次世代に引き継ぐための活用・普及を実践します。

3. みんなと歩む美術館

他施設との連携や来館者とのコミュニケーションを図り、市民の視点に立った取り組みを実践します。

平成 24 年 9 月策定

令和4年度 新潟市美術館 事業計画

I 展覧会事業

1. コレクション展

期 間	事 業 名	内 容
4月22日 ～ 7月10日	コレクション展Ⅰ	同時開催の企画展と関連させつつ、独自の切り口からテーマを設定し所蔵品を紹介する。
7月15日 ～ 10月23日	コレクション展Ⅱ	
10月28日 ～ 1月29日	コレクション展Ⅲ	

2. 企画展

期 間	事 業 名	主 催	内 容
4月9日～ 5月22日 (40日)	宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界 2022 こどものとも	新 潟 市 (実行委員会を組織)	戦後に創刊され、現在に至るまで愛されている福音館書店の月刊絵本「こどものとも」。質の高い絵本づくりを目指し一流の美術家たちを起用したことも知られている。その原画1万点以上を所蔵する宮城県美術館のコレクションから初公開を含む約50作を紹介。《巡回展》
7月2日～ 9月25日 (69日)	マン・レイと 女性たち	新 潟 市 (実行委員会を検討中)	20世紀を代表する芸術家であるマン・レイによるポートレイトをはじめ、とくに「女性」にかかわるオブジェや彫刻、絵画により構成。写された女性たちの人物像も紹介するとともに、女性のシュルレアリストたちによるアクセサリーやドレスなども展示。《巡回展》
10月28日～ 11月23日 (24日)	新潟映像祭	新 潟 市	所蔵作品をはじめ、新潟で制作された新潟にちなんだ映像作品を特集展示。 《自主企画展》
11月29日～ 1月29日 (48日)	リアルのゆくえ 現代の美術家たち	新 潟 市	明治以降の日本美術における〈写実〉表現を考える展覧会の第二弾。今回は絵画に加え現代彫刻までも視野に入れ、生き人形、高橋由一、高村光雲、平櫛田中から七瀬綾乃や小谷元彦まで、新作を交えて展望する。《巡回展》

II 教育普及事業

1. コレクション展関連

展覧会	事業名	内容
コレクション展Ⅰ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など 3回(4/30、5/14、6/18)
コレクション展Ⅱ		学芸員による展示作品の解説など 3回(7/23、8/20、9/17)
コレクション展Ⅲ		学芸員による展示作品の解説など 3回(11/12、12/17、1/14)

2. 企画展関連 (※現在開催が決定している事業分のみ)

企画展にあわせ、より理解を深めるための講演会などの関連事業を計画予定。

3. 学校向け教育普及事業

期間	事業名	内容
6月～1月	ARTRIP (アートリップ)	美術館での鑑賞体験をさらに深めるために、学芸員による学校での出張授業(出前)と美術館での団体観覧(送迎バスを用意)をセットにしたプログラム。指導目標、授業のねらいに応じて学校と話し合いながらオーダーメイドの鑑賞授業を行う。令和2・3年度に準じたウィルス対策を取り5校程度実施。
各企画展開催 期間中の1週間	教職員視察 ウィーク	教職員に展覧会を視察してもらい、学校との連携事業についてのきっかけづくりを行う。鑑賞のガイドを発行するとともに、モニターアンケートを実施。

4. 各種講座

期間	事業名	内容
6月～3月	美術講座	館長及び学芸員が各回を担当する講座。開催中の展覧会に関連した内容または各自の研究に沿った内容で実施〔5回程度開催予定〕
6月～3月	実技講座	実際の制作を中心に多様な表現・技法に親しむ講座。鑑賞につなげることに重点を置く。〔2回程度開催予定〕
夏・冬	子ども講座	小中学校の子どもを対象に、館内の探索や実制作によって美術に親しんでもらう講座〔2回程度開催予定〕

5. 【新規】子育て世代への取り組み

期間	事業名	内容
試験的实施	ベビーカーデイ	乳幼児同伴の家族が無料でコレクション展を観覧できる日を設定。カフェと協働し、子育て世代に身近に美術に親しんでもらう機会とする。〔1回程度開催予定〕

Ⅲ 調査研究事業

(1) 研究紀要の発行

・日頃の調査研究活動の成果や記録を今後の活動に活かすため、新潟市新津美術館と共同で研究紀要としてまとめる。

(2) 年報の発行

・美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに今後の活動に活かすため、新津美術館と共同で作成。

Ⅳ 収集保存事業

(1) 収蔵・展示環境保全

・収蔵庫、展示室の温湿度の管理、IPM(総合的有害生物管理:カビ・虫等の生物被害未然防止対策)を行う。

(2) 作品保存・修復

・R3年度調査を踏まえ作品の額装や修復を行い、作品の状態を良好に保つ。

(3) 作品管理

・作品リストのデジタル化を進めてカード(紙)とデータで2元管理を行い、事務の効率化を図る。

Ⅴ 施設普及事業ほか

・美術館ニュース「Wave」の発行、Lounge Nでの「きままプログラム」など施設普及イベントの実施等を予定

令和4年度 新潟市新津美術館 事業計画

I 展覧会事業

1. コレクション展

期 間	事 業 名	内 容
5月28日 ～ 7月18日	コレクション展Ⅰ	同時開催の企画展と関連させつつ、独自の切り口からテーマを設定し所蔵品を紹介する。
7月30日 ～ 9月25日	コレクション展Ⅱ	
10月29日 ～ 12月25日	コレクション展Ⅲ	

2. 企画展

期 間	事 業 名	主 催	内 容
3月19日～ 5月15日 (53日)	MINIATURE LIFE展2 田中達也 見立ての世界	新 潟 市 (実行委員会を組織)	機知に富む「見立て」によって、様々な日用品を自在に組み合わせてミニチュアの風景を作り続ける田中達也(1981-)。代表作を含む写真作品約120点と立体作品約50点で、そのユニークな世界の魅力にせまる。《巡回展》
5月28日～ 7月18日 (47日)	山形美術館所蔵 長谷川コレクション展	新 潟 市 (実行委員会を組織)	山形美術館所蔵品の中核をなす長谷川家旧蔵の近世日本美術のコレクションを紹介。与謝蕪村《奥の細道屏風》(国指定重文)を含む約90点を出品予定。 《自主企画展》
7月30日～ 9月25日 (52日)	田島征三展	新 潟 市 (実行委員会を組織)	絵本作家、現代美術作家として幅広く活躍する田島征三(1940-)の創作の全貌を、代表作『ちからたろう』などを含む最新作までの絵本原画や、タブロー、インスタレーション作品により紹介。 《巡回展》
10月29日～ 12月25日 (52日)	黒井健 原画展 児童文学に描く (仮題)	新 潟 市 (実行委員会を組織)	新潟市出身のイラストレーター、黒井健(1947-)の画業50周年を記念する展覧会。『ごんぎつね』など代表作をはじめ、新作を含めた約150点でこれまでの仕事を紹介。 《巡回展》
1月21日 ～3月21日 (53日)	弥生の丘展示館 開館10周年記念 美術と考古でみる、 こころへの生活。 (仮題)	新 潟 市 (市文化財センターとの共催)	地域の文化をテーマにした展覧会。隣の施設「弥生の丘展示館」の10周年と合わせ、考古と美術の二つの視点から、この周辺地域で営まれてきた生活を照らし出す試み。市文化財センターや市歴史博物館の所蔵資料、新津美術館と市美術館のコレクションを活用。 《自主企画展》

II 教育普及事業

1. 企画展関連 (※現在開催が決定している事業分のみ)

企画展にあわせ、より理解を深めるための講演会などの関連事業を計画予定。

2. 学校向け教育普及事業

期間	事業名	内容
6月～1月	出前美術館	申し込みのあった学校(小中学校・高校等)へ作家とともに出向き、作家の話を聞いたり、作品制作体験などのふれあいの中で美術の楽しさを伝える、作家と作品を出前する事業。アートカードを使った鑑賞教育事業も別プログラムとして実施。(7～8校程度実施予定)
各企画展の開催期間中	教職員視察研修観覧	教職員に展覧会を視察してもらい、学校との連携事業についてのきっかけづくりを行う。

3. 各種講座

期間	事業名	内容
6月～3月	美術講座	館長及び学芸員が各回を担当する講座。開催中の展覧会に関連した内容または各自の研究に沿った内容で実施 [7～8回程度開催予定]

III 調査研究事業

(1) 研究紀要の発行

・日頃の調査研究活動の成果や記録を今後の活動に活かすため、新潟市美術館と共同で研究紀要としてまとめる。

(2) 年報の発行

・美術館の諸活動を他館や関係機関に報告するとともに今後の活動に活かすため、新潟市美術館と共同で作成。

IV 収集保存事業

(1) 収蔵・展示環境保全

・収蔵庫、展示室の温湿度の管理、IPM(総合的有害生物管理:カビ・虫等の生物被害未然防止対策)を行う。

(2) 作品保存・修復

・R3年度調査を踏まえ作品の額装や修復を行い、作品の状態を良好に保つ。

(3) 作品管理

・作品リストのデジタル化を進めてカード(紙)とデータで2元管理を行い、事務の効率化を図る。

V 施設普及事業ほか

(1) ミュージウムコンサート

・館の特徴であるアトリウム空間や展示室を活用して、コンサートを実施する。

(2) 利用者にはやさしいサービス

・各展覧会中の第2・第4の木曜・土曜日に「託児サービス」を実施する。

・各展覧会中の第1・第3の木曜・日曜日に、親子で語り合いながら鑑賞できる「こどもタイム」を実施する。

・各展覧会中に1～2回は月曜日を閉館する「あいてマンデ～」を実施する。

新潟市美術館・新津美術館の相互利用の促進について

2021.10.20

○目的

新潟市美術館・新津美術館相互の連携を図り、一体的な運営を強化するため、施設の利用促進と施設運営の活性化を図ることを目的に、新たな試みとして両館の相互利用の仕組みを構築する。

○制度の仕組み

新潟市美術館、新潟市新津美術館の2館は、企画展観覧者が一方の使用済企画展観覧券（半券）を入館時に提示することにより、観覧料の割引を実施する。

割引の内容については、以下のとおりとする。

○割引内容について

対象施設の観覧料等に「団体料金」を適用する。

施設名	割引対象	適用料金
新潟市美術館	企画展観覧料	団体料金（通常料金の2割引）
	常設展観覧料 （常設のみ開催時に 適用）	団体料金 （大人 200円→160円） （高・大学生 150円→110円） （小・中学生 100円→70円）
新潟市新津美術館	企画展観覧料	団体料金（通常料金の2割引）

○割引有効対象及び期間

1枚の使用済企画展観覧券半券につき割引の適用は1回限りとする。有効期限は、券面に表示された展覧会の会期最終日より1年間とする。（例：10月25日が最終日のチケットの場合翌年の10月24日まで有効）

○受付運用

- 1 相手方の使用済み企画展観覧券の提示があった場合、施設利用時にスタンプを押印する。
- 2 使用済観覧券の利用により団体料金を適用して購入した観覧券についても、それ以降同様の取扱を行う。

○備考

双方で行っている既存の「リピーター割引」については、従来どおり（同一展の団体割引）の運用とする。

○運用開始 令和4年4月1日以降の展覧会より割引適用開始とする（半券提示対象は新津のミニチュアライフ展（3/19～）より）